

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)RJR千代県庁口	階数	地上13F
建設地	福岡県福岡市	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	144 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年2月 予定	評価の実施日	2016年9月23日
敷地面積	1,194 m ²	作成者	三好 剛広
建築面積	610 m ²	確認日	2016年9月26日
延床面積	5,909 m ²	確認者	佐藤 智洋



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

☆☆☆☆☆

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 ・周辺環境と調和したデザイン・色彩計画とする。 ・前面道路側沿いには植栽帯を設け、通り沿いの景観に配慮した計画とする。		その他 (注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 ・次世代省エネルギー3等級の断熱性能を確保する。 ・内装材の全てをF☆☆☆☆建材とする。	Q2 サービス性能 ・配管(さや管ヘッダー方式)、配線(CD管)など、更新性に優れた材料や工法を採用する。	Q3 室外環境(敷地内) ・前面道路側沿いには植栽帯を設け、通り沿いの景観に配慮した計画とする。
LR1 エネルギー ・照明器具はLED照明を採用し、エネルギーの効率化を図る。	LR2 資源・マテリアル ・節水型機器の採用により、水資源の保全に努める。	LR3 敷地外環境 ・適切な位置に適切な広さのゴミ置場を設置する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される